

平成19年7月13日～15日 梅雨前線・台風4号に伴う長島ダムの効果について

1. 概要；

7月13日からの梅雨前線及び台風4号による断続的な降雨の影響による出水に対して、長島ダム（大井川水系大井川）が下流地域に対して、以下のような効果がありましたのでお知らせします。

- (1) 長島ダム流域の平均雨量は、総雨量362.6mm(13日11時～15日13時)、時間最大雨量は37.1mm(15日3時～4時)でした。
- (2) 最大流入量が約1,528m³/s(15日9時41分)ありましたが、洪水調節によりダムにて一時貯留(最大調節量414m³/s)させ安全に放流することが出来ました。
- (3) 神座地点(水位観測所)は、最高水位1.82m(15日10時30分)でした。
- (4) 川根大橋地点(水位観測所)は、最高水位4.24m(15日10時20分)でした。
- (5) もしダムがなかった場合、下流地域の川根大橋地点においては水位が約63cm上昇していたものと、想定されます。
- (6) 神座地点においては、もしダムがなかった場合水位が約20cm上昇して氾濫注意水位を超えていたものと想定されます。

なお、記載数値は「速報値」です。

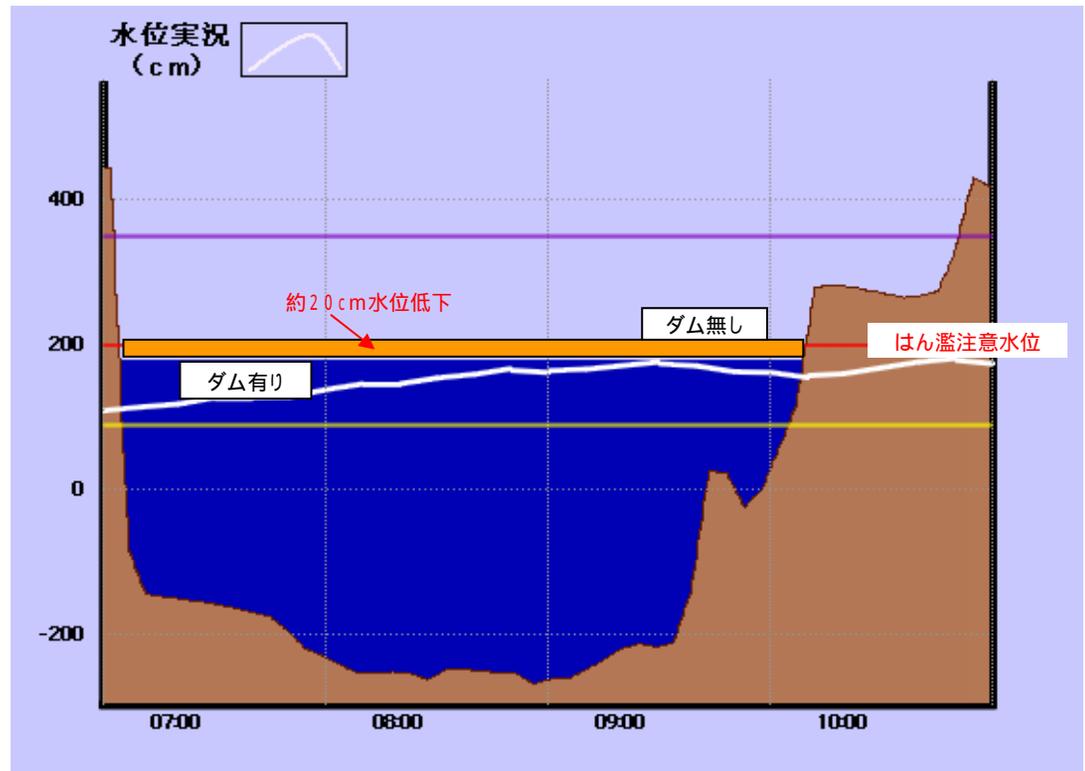


長島ダム放流状況

【神座地点の想定効果】



神座	
時刻	10分水位 (cm)
はん濫危険水位	350
避難判断水位	—
はん濫注意水位	200
水防団待機水位	90



上図はサイボスレーダ(静岡県土木総合防災情報)データを加工したものです。

この情報は速報値であり、検定済データではありません。

横断面図は河川上流から見た形状です。

